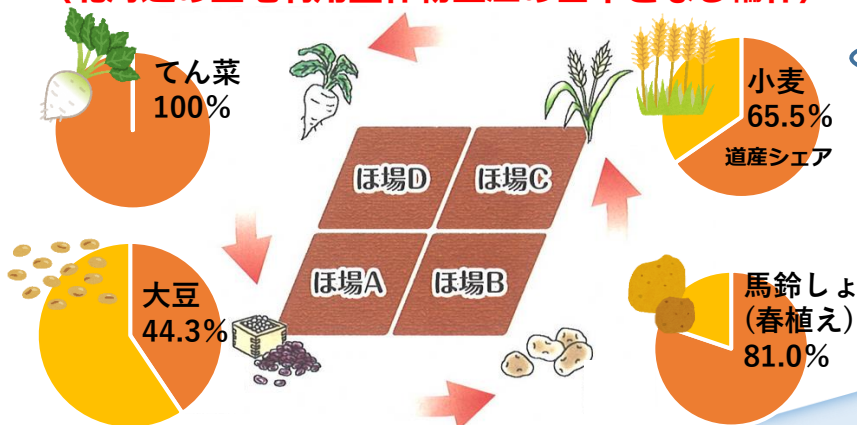


小麦の生産拡大の取組

〈北海道の土地利用型作物生産の基本となる輪作〉



※輪作体系上、面積の拡大は難しい

輸入依存作物（小麦・大豆・飼料作物）の生産拡大を通じて、我が国の食料安全保障の確保に貢献

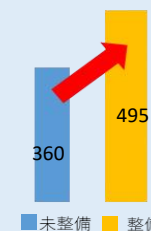
単収向上！

■新品種の開発・普及

「きたほなみ」から新品種へ
R12年で全面切替

排水対策による増収効果

小麦の収量
38%増



「ホクシン」から「きたほなみ」への転換
H18年～生産量が3割アップ

- 高品質・多収栽培技術の普及・定着
- 輪作体系の維持
- 乾燥調製貯蔵施設等の能力アップ
- 種子の安定生産

- 水田におけるブロックローテーションの確立
- 基盤整備による排水性向上
- 輸送手段や保管施設の確保
- 実需との連携による国産への切替

大豆・馬鈴しょ・飼料作物も同様



生産から流通・消費に至る食料システムにおける総合的なパッケージでの取組が重要！